



— 新春の御社頭 —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>



報 あそみや 社

令和8年1月1日

第 94 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

恭賀新年

令和八年の新春を寿ぎ、氏子崇敬者皆様のご多幸を祈念申し上げますと共に、本年も旧年同様のご交誼とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

天地(あめつち)の

神にぞ祈る 朝なごの

海のごとくに 波たたぬ世を

昭和天皇御製(昭和八年)

昭和七年に上海事変が勃発、国内では五・一五事件で政党政治が

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をにかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

阿蘇神社

宮司 大島 大明

終わりを告げます。軍部の発信力が強くなる困難な時節にも、常に平和を祈り続ける天皇の心の内を推察できる御製であります。

昭和十五年の「皇紀二千六百年奉祝会」に奉奏するために、御製を神楽歌として、宮内庁楽部の多忠朝楽長が作曲作舞し、新しい神楽舞が創作されました。

現在では「浦安の舞」として、全国の神社で舞われています。

開運招福 節分祭 豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭は二月三日(火曜日)に行われます。

今年も火焼神事と仮設舞台を組んでの豆撒き行事を行います。また境内には、商工会青年部・女性部による出店も並びます。今年(うま)年、参加希望の方は社務所に申込みください。

【節分祭実施要項】

◎豆撒き行事 参加者募集◎

一、日時

二月三日(火曜日)

豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分

二回目 午後七時四十分

三回目 午後八時四十分

※袴への着替えのため、いずれも四十分前には神社に集合していただきます。

二、募集人員

各回 六名 合計十八名

男女は不問ですが、子供は六名中二名とします。

三、参加料

大人 壹万円・子供 七千円
記念写真・記念品を贈呈

四、申込方法

住所・氏名・生年月日・電話番号と希望する豆撒きの時間を紙に書いて、参加料を添えて社務所へお届けください。



一 豆撒き行事 一

今年の年男・年女(うま)

平成二十六年生、平成十四年生
平成二十二年生、昭和五十三年生
昭和四十一年生、昭和二十九年生
昭和十七年生

定員になり次第締め切りますので、希望者はお早めに申込みをお願いいたします。

電話 四三―五二三五
ファクス 四三―二一八三

◎火焼神事へのお願ひ◎

①火焼神事は、午後九時で終了します。

②神棚・神殿は一つにまとめ、陶器・ガラス製の付属品は分けてお持ちください。

③ビニール袋ではなく、新聞紙または紙袋でお持ちください。

④人形(雛人形、武者人形など)は可ですが、ケースのガラスは自宅で処分してください。また、ぬいぐるみは不可ですので自宅でお処分して下さい。

⑤神社と関係ないものは持ち込まないで下さい。

◎節分祭へご協賛のお願い

節分祭の行事には例年多大の経費を要します。特に近年は諸物価の高騰で苦慮いたしています。皆様方の御厚志を賜りますようお願いいたします。

御協賛いただけるようでしたら、社務所までお知らせ下さい。例年一月二十五日以降に神社より集金にお伺いしています。

◇節分協賛金の募集要項

一、御協賛依頼額 壹万円

一、協賛社(者)への対応

- ・節分から紀元祭まで社頭に芳名札を掲示します。
- ・社報あそみやにご芳名を掲載します。
- ・節分祭後に開運招福祈願の縁起物(招福飾り)をお届けします。
- ・年末には翌年の干支土鈴、神社庁暦などをお届けします。



一 招福飾り 一

令和七年 新嘗祭終了!!

十一月二十三日恒例の新嘗祭が斎行されました。新穀感謝祭とも云われ、秋の稔りを感じする祭典です。

御神前には初穂を始めとする神饌が供えられ、拝殿左右の柱には懸税(かけぢから)と称する稲穂の束が掲げられました。

祭典では宮司が五穀豊穡の感謝と諸産業への更なるご加護を祈念する祝詞を奏上しました。その後参列者の代表が、順次玉串捧げ拝礼を行いました。



— 新嘗祭 —

祭典終了後、宮司の挨拶に続き、石場弘之総代会長、次いでJA長崎せいひ谷口謙太郎理事が生産者を代表し交々挨拶を行いました。

その後社務所に移動して直会を催し秋の実りを祝いました。

新嘗祭に際し以下のとおりご奉納を賜りました。

☆新嘗祭への奉納☆【敬称略】

◇初穂 神社庁西彼支部

◇懸税 松山秀明

◇献穀米 神社庁西彼支部

長崎県神道青年会

◇奉献米 辻 秋義・松山秀明

◇奉献酒 十八親和銀行多良見町支店長 西原真也・たちばな信用

金庫多良見支店長 土井大輔

◇初穂料 榊溝上建装・溝上元規

JA長崎せいひ喜々津支店長・黒

川政利、(有)森商会・森 誠司、犬

塚秀樹、JA長崎せいひ理事・谷

口謙太郎、北島守幸、辻 秋義、

本田 隆、松尾博一、岸良弘幸、

清水光一、山内和博、川口 勉、

山下彦幸、川原陽介、木下 聡、

石丸昌則、森 英敏、原口博道、

嶋田正幸、中路英憲、石丸俊也、

北島勝幸、石場弘之、蔭山 勇、

福田泰昭、西原三千男、森高永久、

犬塚 勇、高内弘之 以上

◇総代会便り◇

①注連縄づくり

十二月七日(日曜)に恒例の注連縄づくりが行われました。注連縄づくりは、平成十二年に評議員会で決定した総代会の事業で絶えること無く継続されています。

当日は神社総代、評議員の他に元総代、元評議員、有志の方など多数が参加されました。御社殿正面と第一鳥居に掲げる大注連縄の他手水舎、御神木などに取り付ける注連縄を作り上げました。注連縄づくりに参加されました皆様方にご慰労とお礼を申し上げます。有難うございました。



— 注連縄づくり —

②初詣参拝者へお願い

・今年も「樽酒」を用意します。
・午前零時に鏡割りを行い、三日まで御神酒を振る舞います。
・手水舎は使用できますが、手拭きのタオルは用意していません。
・参拝時は時節柄、咳エチケットをお願いいたします。

◎祝祭日には国旗を掲げてお祝いいたしましょう
◎お正月には新しい御神札おふだを受けて祀りましょう

また注連縄づくりに際し左記のとおりご献納を賜りました。御芳名を掲載してお礼申し上げます。
一、金一封 石丸 清殿
一、稲ワラ 内田克夫殿

初詣は阿蘇神社へ!!

一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

お知らせ

◎ 神社の駐車場は台数に限りがあります。ご参拝の皆様方にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご容赦のほどお願いいたします。

◎ 新年の御祈願は元旦午前零時より受け付けます。
会社・団体の新年の祈願祭も随時受け付けています。

開運招福・家内安全
社運隆昌・商売繁昌
厄入・厄払・試験合格
交通安全祈願 他

令和8年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入 男 41歳 昭和61年生
女 33歳 平成6年生
厄払 男 42歳 昭和60年生
女 34歳 平成5年生

その他の大厄の年

男 25歳 平成14年生
女 19歳 平成20年生

◎ その他、男女とも22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳が厄年とされています。

還 暦 61歳 昭和41年生
古 稀 70歳 昭和32年生
喜 寿 77歳 昭和25年生
傘 寿 80歳 昭和22年生
米 寿 88歳 昭和14年生

◎ その他、90歳を卒(卒)寿、99歳を白寿、100歳を上寿といいます。

参賀は人生の節目です。
神様に報告をいたしましょう。

◇年末年始の神社行事予定◇

十二月三十一日 午後四時 大祓式
午後十一時 除夜祭
一月 一日 午前八時 歳旦祭
一月 三日 午前八時 元始祭
二月 三日 午後五時 節分祭
二月 十一日 午前十時 紀元祭
都山流尺八愛好会による尺八の奉納演奏があります。

◎ 紀元祭にはどなたでも参列できます。尺八の伴奏で「紀元節」の歌を合唱します。一緒に歌ってみませんか。
ご家族ご近所お誘い合わせ、ご参拝下さい。

◆編集後記◆

高市早苗氏が内閣総理大臣に選出された。憲政史上初の女性首相に期待したい▼高市首相は、所信表明演説で「今の暮らしや未来への不安を希望に変え、強い経済を作る」と宣言された。次代へ繋がる結果を残していただきたいものだ▼今年の節分は二月三日。然し今後しばらくは、四年に一度の割合で、二日になるとのこと。地球の公転周期と暦のずれが理由というが理解できない▼寒さの厳しい日が続きます。時節柄ご自愛專一にお過ごし下さい。

謹賀新年



阿蘇神社 宮司
総代会長 大島 明
副会長 石場 弘
総代 蔭山 昭
福田 泰
西原 三男
森高 永
犬塚 弘
高内 之
川口 勉
本田 隆